



### ○ 生徒会オリエンテーション

4月13日(月)5校時、生徒会オリエンテーションが生徒会主体で開催されました。新入生に三根中学校の生徒会や部活動について知ってもらう会です。生徒会活動とは何か、三根中ポイントとは何か、MVAとは何かなど生徒会本部から説明がありました。その後、各部委員会の委員長、副委員長から各部の活動について説明がありました。その後、各部活動から工夫を凝らした紹介がありました。

説明する生徒会役員の様子を見てると物おじしない堂々とした発表で、プレゼンなども慣れている様子で感心しました。



部活動紹介においては、勝利や入賞にこだわるだけでなく、興味がある活動を友人と楽しんでいる様子が伝わってきて、ほのぼのとした気持ちになりました。特に印象に残ったのは、野球部です。部員2名で活動もうまくできない中、普通であれば、キャッチボールか簡単なバッティング練習の紹介でしょうが、今回の紹介は、野球部に入った際のメリット？を紹介してくれました。ボールが飛んできたとき、一般人はぶつかり転がるが、野

球部に入っていると受け止め、身を守ることができることを、実演を交え示してくれました。ウィットに富む紹介で、盛り上がりました。

生徒会の説明を聞いている人は話をしっかりと聞き、部活動の紹介を聞いている人たちは、拍手や手拍子で盛り上げていました。

新入生には2, 3年生の活動の様子がしっかりと伝わったと思います。何かほっこりとした心地よいオリエンテーションとなりました。

### ○ 1年生交通安全教室

4月15日(水)5校時、1年生対象に交通安全教室を開催しました。鳥栖警察署の交通課の方が、4月から適用になった自転車の交通ルールを中心に講話をされました。

今話題の青切符は16歳以上が対象となりますが、中学生は白切符で注意指導がなされます。

会の始めの私のあいさつの中で、私の最近の交通事故体験を話しました。私は12月に、横断歩道を渡っている最中に右折してきたタクシーにひかれたことから、ルールを守っていても交通事故にあうこともあるので、回避可能な危険は、事前に回避して命を守ろうという話をしました。

中学校になって初めて登下校に自転車を使う生徒たちです。まだまだ大きめの自転車に慣れていない1年生も多く、少しふらついて運転している生徒も見かけます。早く自分の自転車に慣れて、ルールを守り安全に登下校してほしいものです。



### ○ 三根中五輪

4月28日(火)昼休み、生徒会保健部主催で三根中五輪が開催されました。ドッジボールのルールでボールの代わりにドッジビーを使って競技を行っていました。1年生から3年生までが一緒になって楽しめるよう配慮されたものです。

希望者の参加にもかかわらず、参観者も含めると全校生徒の半数以上(100人以上?)は参加していました。ルールは単純ながら楽しんでいました。ドッジビーが1つから2つになると、前にも後ろにも注意を配りながらさらに白熱していました。



### ○ ふれあい道徳

5月1日(火)5校時、道徳の授業参観を行いました。

各学級でマナーについて、コミュニケーションの仕方について、成功と失敗について、あいさつについて、チームの一員としての内容で、担任の先生が工夫して授業を行いました。

生徒たちは、日頃から授業には熱心に取り組んでいますが、いつもに増して、発表や活動に意欲的な様子でした。

3年2組の代表者のロールプレイは、保護者のカメラが一斉に向けられていました。

2年1組の生徒の発表では、保護者から「大きな声ではっきりと」と声援がありました。

生徒たちは、保護者や知り合いからの声掛けは大きな励みになります。多数の参観ありがとうございました。



### ○ 「五月病」について

5連休終盤になると、ニュースで「五月病」が盛んに取り上げられていました。新しい環境での緊張や連休後の生活リズムの変化により、心や体に不調を感じやすい時期です。

この時期を健やかに乗り越えるためには、**早寝・早起きなど生活リズムを整えること、朝ごはんをしっかりとること、適度に体を動かすこと、家庭で安心して話ができる時間を持つこと**などを心がけましょう。

### ○ 不登校について

近年増加している不登校は、誰にでも起こりうることであり、決して「怠け」や「甘え」ではありません。背景には、心身の不調、人間関係、学習への不安など、さまざまな要因があり、子ども自身が自分を守ろうとして出しているサインでもあります。

学校としては、安心して過ごせる居場所づくりや、本人の気持ちを大切にしたい関わりを心がけています。しかし、そのような状況への対応は、学校だけで完結できるものではないというのが現実でもあります。子どもが置かれている状況は、家庭での様子や生活環境、心身の状態などとも深く関係しており、学校の関わりだけでは支えきれない面もあります。

そのため本校では、保護者の皆様と丁寧に情報を共有しながら、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、関係機関とも連携し、学校・家庭・関係機関が一体となって支えることを大切にしています。それぞれの立場でできることを持ち寄り、子どもにとって最も安心できる環境を整えていきたいと考えています。

連休明けは、保護者の皆様にとっても気持ちが揺れやすい時期かと思えます。どうか一人で抱え込まず、気になることがありましたら早めに学校へご相談ください。小さな不安や疑問の共有が、次の一歩につながることも少なくありません。

子どもたちの成長は一直線ではなく、立ち止まる時間や休む時間も、大切な過程です。学校はこれからも、子ども一人一人の歩みに寄り添いながら、皆様と共に支えていきたいと考えています。